

目次

建設機械の転機に臨んで河合良一 1
 関東ロームの試験盛土
 I. 関東ロームの特性谷口敏雄 2
 II. 東名高速道路 愛鷹試験盛土工事篠木嶺二 8
 III. 東名高速道路 厚木試験盛土工事西中村和利 8
 IV. 東名高速道路 川崎試験盛土工事持永龍一郎 15
馬越雋一 19
中野達男 19
鮫島利隆 19
 バケットドーザによる土運搬の実績雨野一雄 24
 ー関東ロームの施工を対象としてー

グラビヤーアスワンハイダム見学記 (J.C.M.A. 欧州視察団報告 その1)

最近の機械化シールド掘削機

I. IHI 3.05 mφ 機械化シールド掘進機金子文哉 27
 II. 三菱・多軸機械式トンネル掘削機遠藤康生 31
 III. NM 式シールド工法岡一衛 35
 IV. カルウェルド社のトンネル掘削機石川昭 40
 バイプロドライブ運動による鋼管くい掘削打込み試験渡辺隆 43

「建設機械化講座」第29回 現場フォアマンのための土木と施工法

IX. 路盤工 (その4)
 3. 瀝青材による安定処理工法堂垣内尚弘 49
北村幸治 49

本協会第16回定時総会開催57

「建設機械化研究所抄報」

試験研究報告 (No. 6)建設機械化研究所 63

「文献調査」

新しい岩石破碎方式施工部会文献調査委員会 66

「支部便り」

創立15周年記念 昭和40年度建設機械展示会関西支部 68
 新機種発表会開催九州支部 70
 建設機械運転員養成講習会開催北海道支部 71
 建設機械の出張車検実施北海道支部 72

ニューズ(編集部) 73

行事一覧・編集後記(環・斎藤) 74

本協会団体会員一覧

◇表紙写真説明◇

TS 260 モータースクレーパ

株式会社 神戸製鋼所

ショベルとダンプトラック、そしてブルドーザの機能を兼ね備えたモータースクレーパは第2次世界大戦の中から生れた新しい建設機械である。特に土地造成には最も有利な建設機械とされ、諸外国ではすでに多数活躍している。(株)神戸製鋼所は米国アリスチャーマーズ社との技術提携により、最新型 TS 260 モータースクレーパを国産化し、数多い建設機械の中に一段と新しい威力を発揮することとなった。本機の特徴は次のとおりである。

特長

- (1) 自動車の技術が基礎に採り入れられた合理的な設計。
- (2) 積載荷重に比べ自重が軽い。
- (3) 積載時重量に比べエンジン出力が大きい。
- (4) 走行速度が速く作業能率が大きい。
- (5) 運転が容易でオペレータの疲労は低減される。
- (6) 容量が大きいので工事原価が低い。
- (7) スクレーパ部をワゴンと取替えることにより大型ダンプトラック (22t) に転用できる。
- (8) 米国における使用実績多く信頼度が高い。

主なる仕様

構造	4輪自走前輪駆動	全長	10.67 m
エンジン最大馬力	345 PS	全幅	3.52 m
容量	平積	掘削幅	2.94 m
	山積	掘削深さ	222 mm
走行速度	前進1速	散布厚さ	457 mm
	前進5速	旋回半径	7.46 m
自重	21.0 t	タイヤ寸法	26.5-25-24 PR